



株式会社キッツ (地域活性化起業人)
Vol.48 ぐんじ みわ 軍司 美和さん

福岡県夏の三大祭りの一つで、北九州市の「戸畑祇園大山笠」の最大の見せ場は、勇壮な「幟山笠」から光のピラミッドと称される「提灯山笠」への姿替えです。幼少期から見て育ち、今も光景がよみがえります。環境ソリューション事業のため、株式会社キッツから4月に地域活性化起業人として着任した軍司美和さんに話を聞きました。

“ノウハウを生かしてカーボンニュートラルを実現”

同社は、「流体制御機器」と呼ばれるバルブ・システム機器等の国内最大手の総合メーカーです。入社以来、軍司さんは新設される部門の庶務と部門長の秘書を務めていました。2年前に転職は訪れます。役員から「イチゴ売りにならないか？」と打診されたのです。同社が手掛ける新規事業で、長野県の茅野工場での水の循環システムを活用したイチゴの生産と販売の立ち上げでした。「未知の世界でした。農家のメンタルの強さやマニュアル通りに作物が育たない厳しさも含め、私の人生観を大きく広げてくれました」。

この実績が評価され、長野に加えて地域活性化起業人として厚真町でも活動の場を持つことになりました。昨年11月に初めて厚真町を訪れ、スターフェスタなどにも顔を出しました。「人との出会いを大切に、厚真町とのかかわりを深めたい」という言葉から軍司さんの姿勢が伺えます。厚真町のカーボンニュートラルの実現に呼応して、水の循環システムや再生可能エネルギーの使用、木質バイオマス発電の廃熱と二酸化炭素の活用など、地球環境に優しいまちづくりに貢献する予定です。

町民にとって当たり前の景色でも、軍司さんには新鮮に映ります。「キラキラ輝く雪景色、まぶしい太陽、澄んだ青空…。まるで北欧にきたみたい」と、厚真の魅力を肌で感じています。美しい環境への貢献を心に秘めています。

知人も増え、「閉鎖的だったらどうしよう」という不安は一掃されました。職場の後輩たちからは「軍司さん、イキイキ輝いて見える」とか「仕事が楽しそう」と声を掛けられます。決まって「うらやましいでしょ」と返答するようになりました。

同社の企業理念には「ゆたかな地球環境と持続可能な未来の創造」がうたわれています。

「液体あるところにキッツあり」と思われるよう、積極的に地域に溶け込みます。

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人・・・
みんな、みんな、ATSUMA LOVERS